

伊賀地ものがたり

伊賀地という呼び名は、かつて西方寺所蔵の文永11年(1274)の文書に『下徳地伊賀地村鳥井か瀬』とあり、建治2年(1276)の文書にも『下得地保内伊賀地村』とあることから、今からおよそ740年も前から使われていたことになる。沖の原という地名の由来は、風土注進案の『先年山べりばかりに家があって、沖の方は野原であった。それで沖の原という』とある。

当時、佐波川は思うがままに流れており、一旦洪水ともなると一面の海になる状態であった。伊賀地はまさに『怒る地』であって、地域の大部分は佐波川の氾濫原により形成されている。ただし、今日では佐波川ダムのおかげで、洪水の被害は大幅に減少した。

船津の地名の由来は、佐波川通船が出来る以前から川渡し船があったことによる。奇兵隊が水練を行った場所もこの付近(漆尾側)にあったと伝えられている。

伊賀地とその周辺には多くの名所・旧跡がある。重源上人ゆかりの浄土寺跡・西方寺跡・西宗寺をはじめ、延喜式内社として格式の高い出雲神社など是有名である。

人物では、与謝野鉄幹とともに『明星』を創刊した林滝野、兄弟3博士として知られる藤本兄弟が有名で、それぞれに関係する石碑が建てられている。戊辰の役で戦死した長州藩士、美和内蔵主なども伊賀地の出身である。



浄土寺跡から沖の原を望む



山口観光コンベンション協会 徳地支部

Mail tokudi2005@yahoo.co.jp Tel 080-2916-8878

山口市徳地地域魅力創出発掘業務委託事業
このマップは地域の人々の協力を得て作成しています。

発行月 2020年3月

名所・旧跡を訪ねる
ウォーキングマップ

伊賀地



① 西宗寺



重源が作ったと言われる阿弥陀如来像などの像をお堂の窓から拝見する事ができる。また、県指定の天然記念物となったオオヤマザクラも見物。

② 浄土寺跡



重源建立の四ヶ寺の一つ。現在はお墓のみとなっているが、菜の花越しに見渡せる伊賀地の風景は一見の価値あり。

③ 山根八幡宮



勧請は貞観元年(859年)。今から1160年前に豊前国宇佐八幡宮から伝えられたとされる。木製の『こまいぬ』は重源以前の作とされる。すぐ近くに今は使われていない石風呂跡を見る事ができる。

④ 林滝野顕彰文学碑



与謝野鉄幹と結婚し、雑誌『明星』を鉄幹と共に創刊した林滝野の顕彰文学碑。後に鉄幹とは離別し、鉄幹は与謝野晶子と結婚する。

⑤ 西方寺跡



重源建立四ヶ寺の一つ。毛利家の家臣であった国司元武・元蔵はこの地を知行したことから西方寺跡に墓がある。この墓周辺一帯に西方寺があったとされている。

⑥ 佐波川通船一里塚跡



江戸末期、佐波川通船が開発され、河川交通の目印となるよう一里毎に榎が植えられた。今は唯一、新田橋の近くに残っている。

⑦ 出雲神社



徳地地方最古の神社であり、古くから周防屈指の名神として朝廷から手厚い保護を与えられてきた。式内社として格式が高い。近くに石風呂が現存している。

⑧ 藤本兄弟建立の記念碑



次男の実也が京都帝国大学「農学博士」、三男の壮一が東京帝国大学「経済学博士」、四男の万治が東京帝国大学「文学博士」となり3博士として知られた兄弟と長男の4人が建てた記念碑。

